

平成 30 年 7 月 30 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 上田 隆之
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 細野 宗宏
電話番号 03-5572-0233

オーストラリア イクシス LNG プロジェクト
生産開始について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、オーストラリア連邦において操業主体（オペレーター）としてプロジェクトパートナーと共にイクシスLNGプロジェクト（以下、本プロジェクト）の開発作業を進めておりますが、今般、電気機器の追加確認作業を含めた最終的な安全確認作業が完了し、生産井からのガス生産を開始しましたので、お知らせいたします。



イクシス ガス・コンデンセート田の CPF（手前）と FPSO（奥）

生産されたガスは、沖合生産・処理施設（以下、CPF：Central Processing Facility、名称：イクシス エクスプローラー）に集められ、液体と気体に分離処理された後、液体は沖合生産・貯油出荷施設（以下、FPSO：Floating Production, Storage and Offloading、名称：イクシス ベン

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

チャラー)に、また、気体はCPFから全長約890キロメートルのガス輸送パイプラインを経由して、オーストラリア連邦北部準州のダーウィンに位置する陸上ガス液化プラントまで輸送されま
す。FPSOでは液体に含まれるコンデンセートを水分等の不純物と分離してFPSO内のタンクに貯
蔵した後、タンカーにて出荷します。陸上ガス液化プラントでは、不純物を除去し、ガス内に残
留するコンデンセートを抽出し、またガス成分を分離・液化して液化石油ガス (LPG) 及び液化
天然ガス (LNG) を製造して、サイト内のタンクに貯蔵したのち、順次出荷してまいります。

本プロジェクトからの生産物については、本年度の上期末に向けて出荷^{※1}を開始してまいりま
す。

※1 コンデンセート、液化天然ガス (LNG)、液化石油ガス (LPG) の順番で出荷予定。

当社は引き続き、本プロジェクトに関係するプロジェクトパートナー、地域コミュニティの方々、
オーストラリア連邦政府、西豪州政府及び北部準州政府などのオーストラリアの関係者やプロジ
ェクト関係者の方々のご理解とご協力を得ながら、本プロジェクトの成功に向けて引き続きまい
進する所存です。

なお、本プロジェクトから見込まれる利益貢献を織り込んだ2018年度 (2019年3月期) の連結
業績予想については、原油価格の見通し等を踏まえ現在精査中であり、業績予想の修正を行う場
合は速やかにお知らせいたします。

以上

イクシス LNG プロジェクト

イクシスLNGプロジェクトは、当社が操業主体 (オペレーター、参加権益比率: 62.245パーセント)
としてトータル社 (同: 30パーセント)、台湾中油 (CPC、同: 2.625パーセント)、東京ガス (同:
1.575パーセント)、大阪ガス (同: 1.2パーセント)、関西電力 (同: 1.2パーセント)、JERA (同:
0.735パーセント) 及び東邦ガス (同: 0.42パーセント) と共に、オーストラリア連邦西豪州沖合に位
置するイクシスガス・コンデンセート田より産出される天然ガスを、オーストラリア連邦北部準州の
ダーウィンに建設する陸上ガス液化プラントにて液化し、年間約890万トンのLNG及び年間約165万ト
ンのLPGとして生産・出荷すると共に、沖合生産・貯油出荷施設 (FPSO) などから日量約10万バレル
(ピーク時) のコンデンセートを生産・出荷する計画です。本プロジェクトは、40年という長期に
わたって稼働が見込まれる世界的にも大規模なLNGプロジェクトです。当社は、1998年の公開入札に
より本プロジェクトが位置する鉱区の探鉱権を取得、その後の探鉱・評価作業や基本設計作業などの
開発検討作業を経て2012年1月に最終投資決定しました。